

# トランスウォーミン<sup>®</sup>L・マット ソーラーコレクタ 取扱説明書

「トランスウォーミン」は東邦ガス株式会社の登録商標です。

トランスウォーミン<sup>®</sup>L・マットは足元を心地よく温めます。また、ソーラーコレクタは太陽熱を集めて蓄熱をアシストし、トランスウォーミン<sup>®</sup>L・マットの収納箱としても使えます。アウトドアレジャーや防災備蓄品の防寒アイテムとして、持ち運びやすく、繰り返し使える電気・火いらずの防寒マットです。



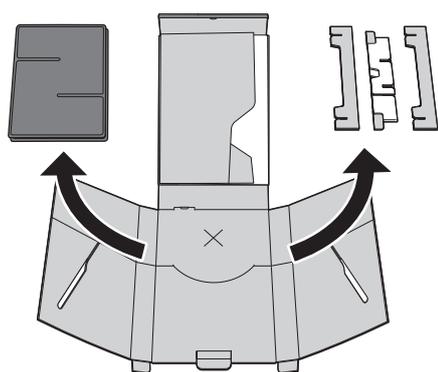
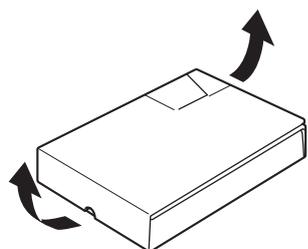
この度は当社の製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくため、必ず本書をお読みください（特に「安全上のご注意」）。  
また、必要に応じていつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

■本書では製品名を以下のように表記しています。

製品名	本書での表記
トランスウォーミン <sup>®</sup> L・マット	マット

# ご利用の流れ

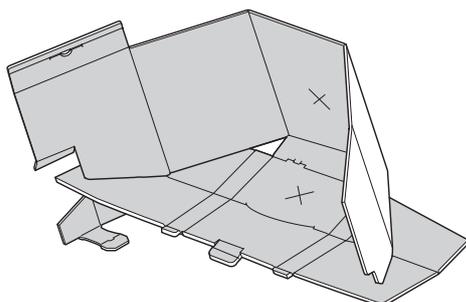
## 開梱 (同梱物の確認)



詳しくは「箱を開ける」(6 ページ)

## 組立て

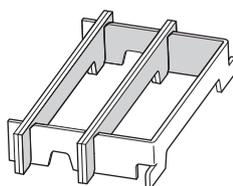
### ソーラーコレクタ



<組み立て済み>

詳しくは「ソーラーコレクタの組立て」(7 ページ)

### 台座パーツ

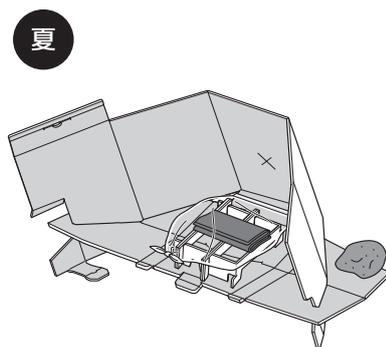


<組み立て済み>

詳しくは「台座の組立て」(7 ページ)

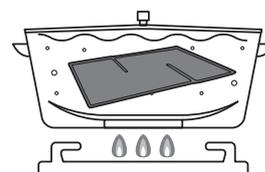
## 熱を溜める (蓄熱)

### 太陽光で熱を溜める



詳しくは「太陽光で熱を溜める」(8 ページ)

### 湯せんで熱を溜める



詳しくは「湯せんで熱を溜める」(9 ページ)

## マットの特長

マットの内容物は食品添加物などで構成された潜熱蓄熱材を使用しています。

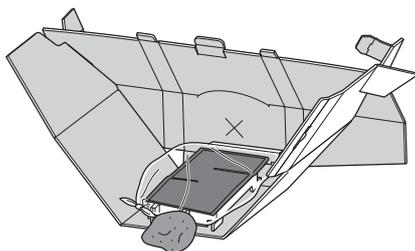
潜熱蓄熱材は加熱 (太陽光や湯せん) すると「固体 (ゲル状)」から「液状」に変化するときに熱を蓄え、刺激を与えることで「液状」から「固体 (ゲル状)」に変化するときに放熱します。

マットには潜熱蓄熱材とともに金属片が内蔵されており、金属片を反り返すことで潜熱蓄熱材に刺激が与えられて放熱が始まります。

## マットを冷まして 保管する (保管)

## 熱で温まる (放熱)

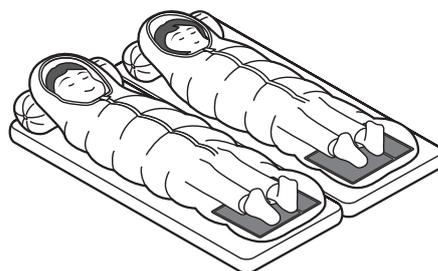
冬



### その日に使うときは

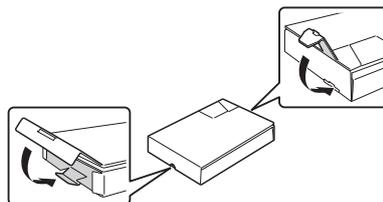
平らな場所でマットを冷まし、  
使うときまでそのままにしま  
す。

たとえば冬の就寝時、寝具と一  
緒に使ってより温かく！



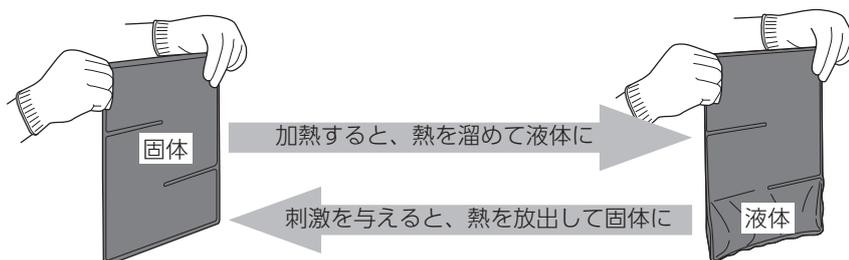
### 長期間保管するときは

マットを冷まし、ソーラーコレ  
クタを箱に組み立て、その中で  
保管します。



詳しくは「マットで温まる (放熱)  
(11 ページ)

詳しくは「マットを冷まして保管す  
る (保管)」(10 ページ)



# 安全上のご注意（必ずお読みください）

人への危害や財産の損害を防止するため必ずお守りください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

 <b>禁止</b>	してはいけない内容です。
 <b>実行</b>	実行しなければならない内容です。

## ■設置場所について

### ⚠ 警告

-  マット・ソーラーコレクタは火気の近くで使用しない。火災の原因になります。

### ⚠ 注意

-  ソーラーコレクタは以下の場所・条件では使用できません。  
雨天時や強風時の使用（事故や破損の原因）。  
湿った場所への設置（蓄熱不良の原因）。
-  ガラス窓を介しての太陽光によるソーラーコレクタの使用は推奨していません。  
ガラスで光が拡散するため、蓄熱に時間がかかることがあります。また、蓄熱が完了できないおそれがあります。
-  日射が不足がちな地域では、ソーラーコレクタによる蓄熱方法が適さない場合があります。  
湯せんによる蓄熱を行ってください。

## ■トラブルを防ぐために

### ⚠ 警告

-  マット・ソーラーコレクタには落とす、投げる、折り曲げる、踏みつけるなどの過度な衝撃・荷重を与えない。マット・ソーラーコレクタの破損やけがの原因になります。
-  マットを物やお尻の下に敷いたり、マットの上にとったりするなどの過度な荷重をかけない。マットが破損するおそれがあります。
-  マット・ソーラーコレクタは改造・修理をしない（刃物や先のとがったもので傷をつけたり、穴をあけたりしない）。  
事故やけがの原因になります。
-  蓄熱後のマットを冷ましているときに、マットを身体に当てない。  
やけどや低温やけどのおそれがあります。
-  マットの使用中、熱すぎると感じた場合・痛みや違和感など身体に何らかの異常を感じたときは、すぐに使用を中止する。  
身体不調の原因になります。
-  マットの使用中、肌荒れ（かぶれ、かゆみ、湿疹等）が現れた場合はすぐに使用を中止し、症状が続く場合は医師に相談する。  
身体不調の原因になります。
-  疾患・炎症・傷・腫れ・湿疹などの異常がある部位や、発熱部位にマットを使用しない。  
身体不調の原因になります。
-  顔面にマットを使用しない。  
呼吸ができなくなるおそれがあります。
-  マットやソーラーコレクタを乳幼児の手の届くところや、ペットが不用意に触る場所に置かない。  
やけどやけが、破損の原因になります。
-  蓄熱時や蓄熱直後にマットに触る場合は、軍手をはめて行う。  
やけどをするおそれがあります。
-  湯せんの蓄熱では目安時間を超えて蓄熱しない。  
破損により内容物が流出するおそれがあります。

## ⚠ 注意

-  マット・ソーラーコレクタは取扱説明書に記載した用途以外には使用しない。  
本製品はマットの蓄熱・放熱による足元温めの用途としています。
-  ソーラーコレクタの組立て・設置時は軍手をはめて行う。  
ソーラーコレクタのダンボールの切り口でけがをすることがあります。
-  蓄熱時は子どもだけでの使用を避け、保護者の監督の下で使用する。  
事故やけがの原因になります。
-  ソーラーコレクタの組立て・設置時は、サングラスを着用する。  
反射光により目を痛めるおそれがあります。
-  糖尿病などで血行障害をお持ちの方や低温やけどを起こしたことがある方は、熱さを感じにくいことがあるので、マット・ソーラーコレクタの取り扱い時には、必ず軍手などを着用する。  
やけどや低温やけどを起こすおそれがあります。
-  マット・ソーラーコレクタを廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

## ■ マットについて

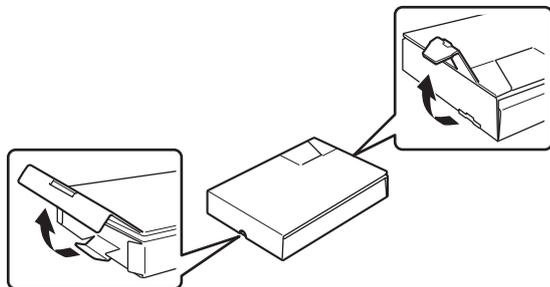
## ⚠ 警告

-  マットの内容物は取り出さない。  
やけどや汚損のおそれがあります。
-  マットの内容物は食べない。  
身体不調の原因になります。
-  万一、マットの内容物が目に入ったときは、すぐに流水でよく洗い、医師に相談する（コンタクトレンズをご使用の場合は、外した状態で目を洗浄してください）。  
身体不調の原因になります。
-  万一、マットの内容物を飲み込んだときは、すぐに流水で口をよくすすぎ、医師に相談する。  
身体不調の原因になります。
-  万一、マットの内容物が皮膚に付着したときは、すぐに流水で洗い流す。皮膚の刺激や湿疹が生じたときは医師に相談する。  
身体不調の原因になります。
-  万一、マットの内容物が衣服に付着したときは、すぐに流水で洗い流す（衣服の色や素材によっては洗い流しても内容物が取れない場合があります）。  
汚損の原因になります。
-  マットは電子レンジで加熱しない。  
事故や火災のおそれがあります。
-  湯せんでマットを蓄熱する場合は、弱火で湯せんし、中火以上の火力で湯せんしない。  
破損するおそれがあります。

# 箱を開ける

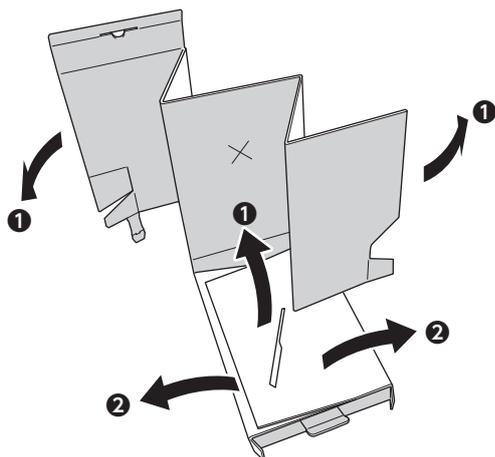
箱を開ける場合は、平らで安定した場所で行ってください。

## 1 差込み (2 か所) を開ける。



## 2 ソーラーコレクタを広げる。

- ① 蓋を奥に倒して、左右に広げる。
- ② 手前の蓋を左右に広げる。



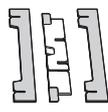
## 3 同梱物を取り出す。



マット  
(2 枚)



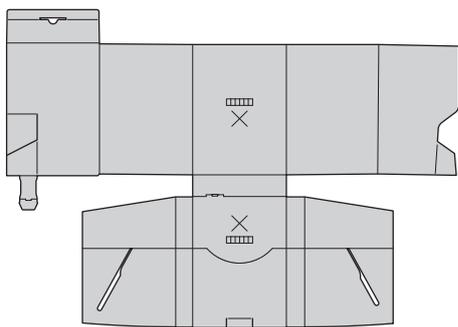
取扱説明書  
(本書)



台座パーツ



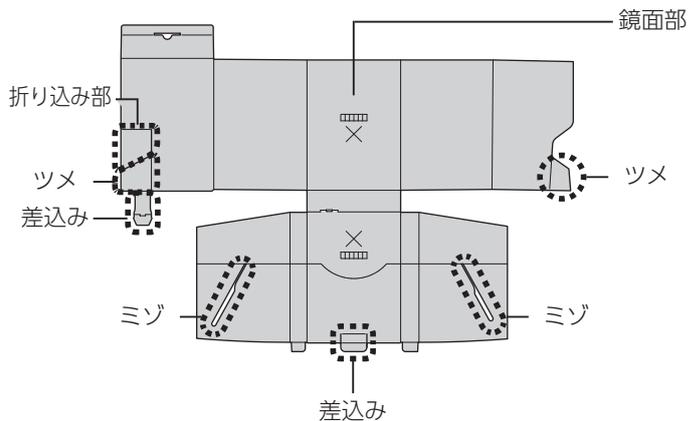
透明ビニール袋



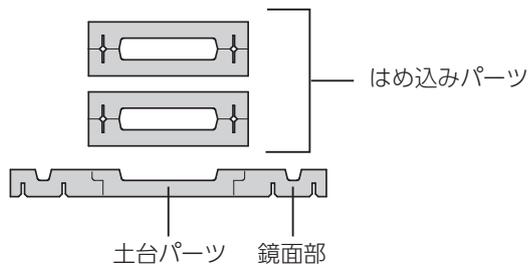
ソーラーコレクタ

# 各部のなまえ (同梱物の確認)

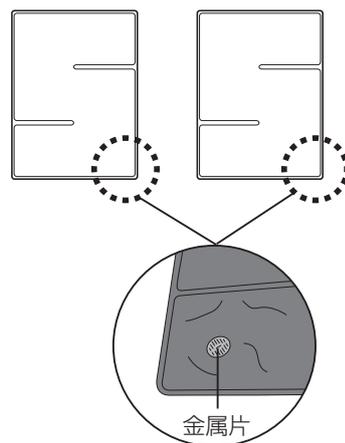
## ソーラーコレクタ (1 枚)



## 台座 (1 セット)



## マット (2 枚)



### お知らせ

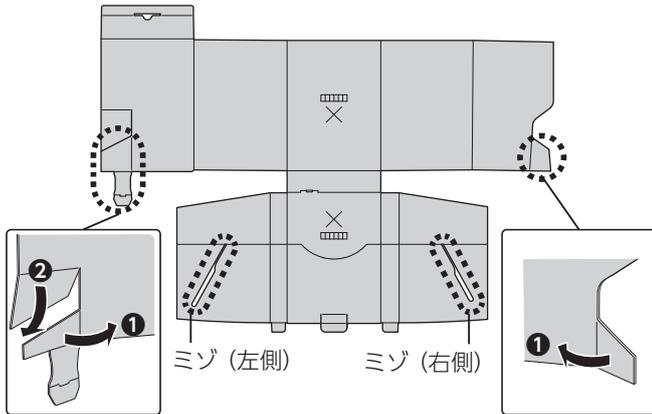
- 金属片が見つげづらいときは、マットを平らなところに広げ、マットを素早く裏返すと、沈んでいた金属片を見つけることができます。
- 「マット単体」をご購入の場合は、ソーラーコレクタは同梱しておりません。

# 組み立て方

組立ては平らで安定した場所で行ってください。

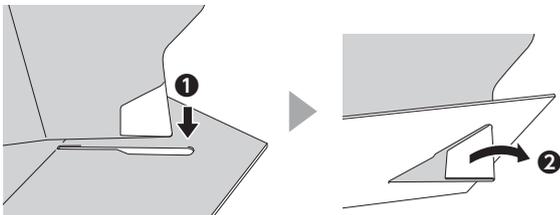
## ソーラーコレクタの組立て

- 1** 両端のツメ（2か所）を内側に折り曲げ（①）、折り込み部を外側に折り曲げる（②）。

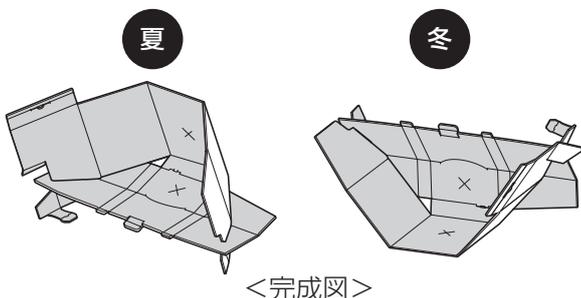
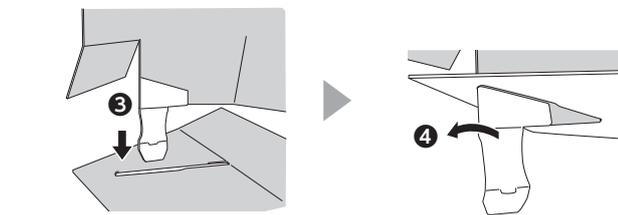


- 2** ツメ（2か所）をミゾに差し込んだあと、内側に折り曲げ、固定（ロック）する。

- ① 右側のツメを折り曲げた状態で、右側のミゾに差し込む。
- ② 差し込んだ右側のツメを広げる。



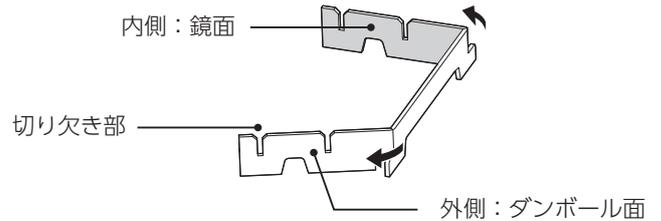
- ③ 左側のツメを折り曲げた状態で、左側のミゾに差し込む。
- ④ 差し込んだ左側のツメを広げる。



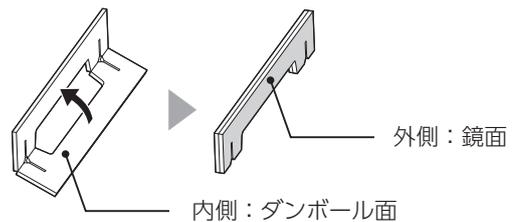
## 台座の組立て

- 1** 土台パーツを、内側が鏡面になるように折り目に沿って折り曲げる。

・切り欠き部が上になるようにします。

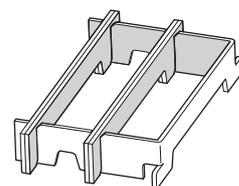
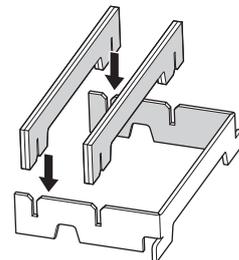


- 2** はめ込みパーツを、外側が鏡面になるように折り目に沿って折り曲げる。



- 3** 土台パーツの切り欠き部に、折り曲げたはめ込みパーツの切り欠き部をはめ込む。

・確実にはめ込んでください。



<完成図>

# 使い方

## 熱を溜める (蓄熱)

### 太陽光で熱を溜める

晴天時、ソーラーコレクタで太陽の光を集め、マットに熱を溜めます。夏季・冬季ともに、午前9時～午後2時の間での実施を推奨します。

マットは必ず1枚ずつ蓄熱してください。

### ■準備するもの

ソーラーコレクタ (組み立て済み)、台座 (組み立て済み)、  
マット1枚、透明ビニール袋1枚  
【別途準備するもの】 軍手、サングラス

### お知らせ

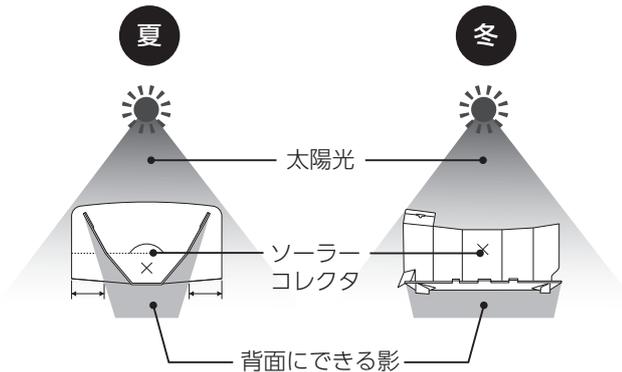
- 透明ビニール袋が劣化や紛失等で使用できなくなった場合は、広げたマットが入る大きさのものを別途ご準備ください。

### ご注意

- ❗ 作業は軍手をはめて行う。やけどをするおそれがあります。
- ❗ サングラスなどを着用する。ソーラーコレクタの反射光から目を守ります。

## 1 太陽の方角に向けて、ソーラーコレクタの鏡面部を設置する。

- ・ 下図はソーラーコレクタを上から見た図です。
- ・ 太陽光の差込みでソーラーコレクタの背面にできる影が左右同じになるように設置します。



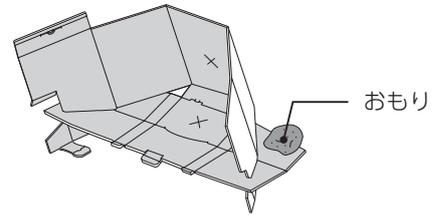
### お知らせ

- 太陽を背に立ち、自分の頭の影がマットを置く位置と重なるようにソーラーコレクタを設置すると、太陽の真正面に設置ができます。

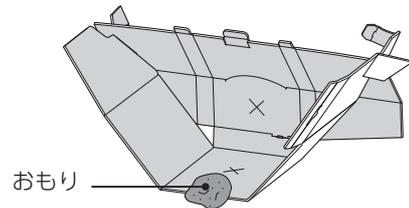


## 2 ソーラーコレクタの転倒や位置ズレが起きないように、石などのおもりを地面と接触している部位に置く。

夏

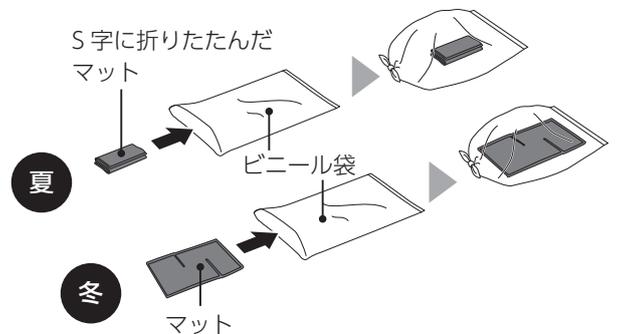


冬



## 3 ビニール袋に蓄熱させるマットを入れる。

- ・ 蓄熱効果を向上させるため、マットを透明ビニール袋に入れて、空気を含んだ状態で袋の口を閉じます。

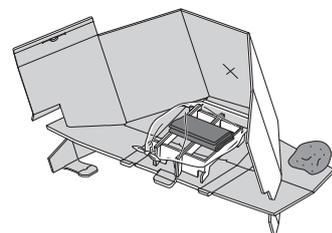


## 4 ソーラーコレクタの中央部にマット (1枚) を載せる。

- ・ 台座の上にマットを載せます。

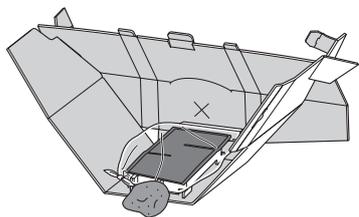
夏

- ・ 「×印 SUMMER」の上に、台座とS字にたたんだマットを置いてください。



冬

- ・「×印 WINTER」の上に台座と広げたマットを置いてください。
- ・多少蓄熱時間がかかりますが、マットは夏季と同様にS字に折りたたんで置くこともできます。



### お知らせ

- 冬季モードと夏季モードのどちらを使うか迷ったときは、マットを所定の位置に置いたとき、ソーラーコレクタ鏡面部にマットが多く映り込んでいるモードで蓄熱してください。

## 5 マットの内容物が十分に融けるまで放置する。

- ・夏季（蓄熱時間の目安）：晴天時で約 1 時間
- ・冬季（蓄熱時間の目安）：晴天時で約 2 時間

### 蓄熱ムラを抑えるポイント

- 1 時間に 1 回、マットの前後の向きを変える。
- 1 時間に 2～3 回、ソーラーコレクタの向きを太陽の方向に調整しなおす。

### ■蓄熱完了

- ・蓄熱が完了したら、やけどをしないようにマットをソーラーコレクタから取り出します。
- ・マットで使用している潜熱蓄熱材は熱を蓄えると「液状」になります。

### 蓄熱完了の目安

- マットの内容物が液状になっていて、結晶物が混じっていない状態（細かい塊が残っていない状態）。
- 蓄熱直後（高温状態）にマットの袋の角を持ってマットをつまみ上げたとき、即座に内容物が袋の下部に溜まる状態。



### お知らせ

- つまみ上げたときに内容物が袋の下部に溜まっても、袋は破れないように設計されています。

■別のマットを続けて蓄熱する場合は、手順 1～5を行います。

■蓄熱完了後は、使用（放熱）するまでマットを保管します。

（詳しくは「マットを冷まして保管する（保管）」（10 ページ）

■マットで温まるときは

（詳しくは「マットで温まる（放熱）」（11 ページ）

### 湯せんで熱を溜める

沸かしたお湯でマットに熱を溜めます。太陽光で蓄熱できない場合などに行います。

マットは必ず 1 枚ずつ湯せんしてください。

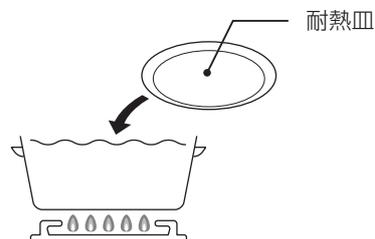
### ■準備するもの

マット 1 枚  
 【別途準備するもの】 ふたのある大鍋、水 2.5 リットル程度、耐熱皿、こんろ、軍手（または鍋つかみ）

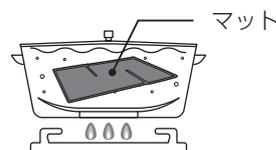
### ご注意

- ❗ 鍋肌にマットが接触しないように置いてください（特にお湯に浸かっていないマット部と鍋肌の接触）。袋が溶けて内容物が出るおそれがあります。
- 🚫 マットを鍋に入れたまま、中火以上で湯せんをしないでください。袋が溶けて内容物が出るおそれがあります。
- ❗ 作業は軍手（または鍋つかみ）をはめて行ってください。やけどをするおそれがあります。

## 1 大鍋の底に耐熱皿を置いて、お湯を沸かす。



## 2 お湯が沸騰したら弱火にし、マットを入れ蓋をする。

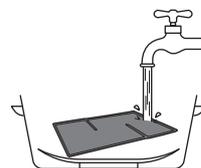


## 3 約 20 分間、放置する。

- ・約 20 分経過したら、火を消してください。

## 4 マットを入れたまま、大鍋のお湯を捨て、水を入れる。

- ・マットを冷まします。



## 5 マットを取り出す。

- ・手で持てる程度に冷ましたら、マットを取り出して表面の水分をふき取ります。

■別のマットを続けて蓄熱する場合は、手順1～5を行います。

■蓄熱完了後は、使用（放熱）するまでマットを保管します。

詳しくは「マットを冷まして保管する（保管）」（10 ページ）

■マットで温まるときは

詳しくは「マットで温まる（放熱）」（11 ページ）

## マットを冷まして保管する（保管）

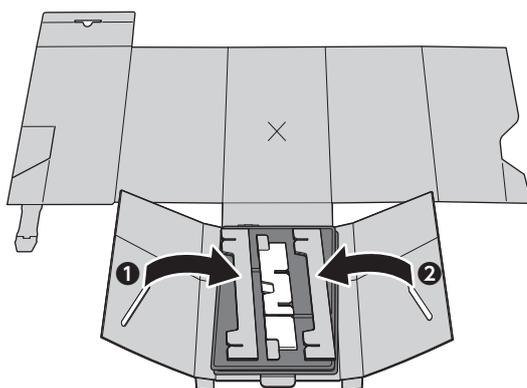
### すぐに使うとき

蓄熱した日の夜などに使う場合は、平らな場所でマットを冷まし、使うときまでそのままにしてください。

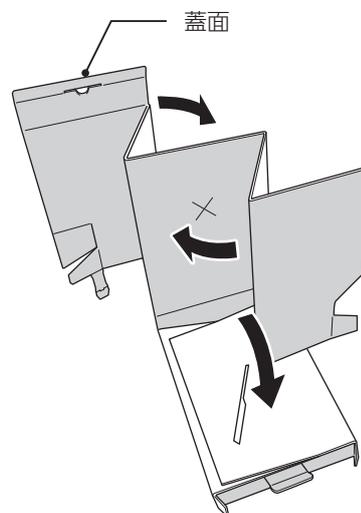
### 後日使うとき

蓄熱した日以降に使う場合は、マットに破損や衝撃を与えないよう箱の形にしたソーラーコレクタに収納して保管します。ソーラーコレクタを箱の形にたたむときは、平らで安定した場所で行ってください。

- 1 「SUMMER」の底面を手前にして広げ、マット・台座のパーツを置き、左側が下（①）、右側が上（②）になるよう折り目に沿って折りたたむ。

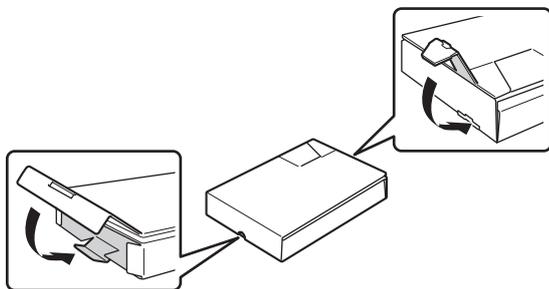


- 2 蓋面が一番外側になるように、折り目に沿ってジャバラに折りたたむ。



### 3 差込み（2カ所）をはめ込む。

- ・差込みをミゾに入れて閉じます。



## マットで温まる（放熱）

マットには潜熱蓄熱材とともに金属片が内蔵されています。金属片はスイッチの役割を果たし、使いたいタイミングで金属片を反り返すことで放熱させることができます。袋が破損しない限り、放熱が終わったら再度蓄熱することで、何度でも繰り返し使えます。蓄熱したマットをまとめて保管しておく、家族で利用したり、急に利用したいときにすぐに利用できます。

#### お知らせ

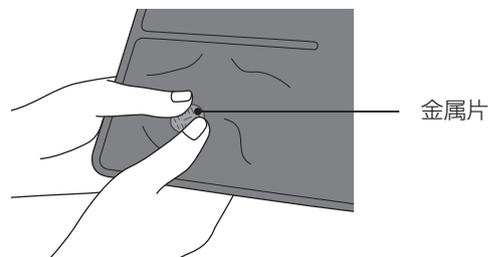
- 保管中に何らかの衝撃を受けて放熱してしまうことがあります。その場合はもう一度蓄熱してご使用ください。

### 1 両手の指で金属片の左右をつかみ、金属片を反り返す。

- ・即座に金属片の周辺から、マットが温かくなります（放熱がはじまります）。

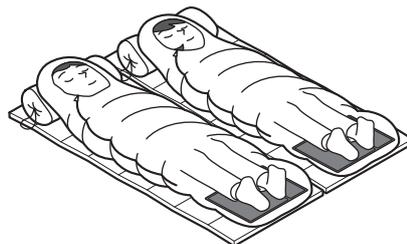
#### お知らせ

- 金属片が見つけづらいときは、マットを平らなところに広げ、マットを素早く裏返すと、沈んでいた金属片を見つけることができます。
- 金属片を反り返した後、マットを手で優しく揉み込むと全体が早く温かくなります。



### 2 寝具の中に入れて布団を温めたり、就寝時に足元を温めたりする。

- ・人肌程度の温度が約1～2時間持続します。



#### お知らせ

- 放熱時の季節、気温などの環境によっては放熱持続時間が目安より短くなる場合があります。

# お手入れの仕方

## ソーラーコレクタのお手入れ

ソーラーコレクタの鏡面部の汚れは、傷がつかないように柔らかい布でふき取ってください。

## マットのお手入れ

### ご注意



洗濯機で洗わない。破損するおそれがあります。



保管の際は印字部分に他のマットが触れないようにする。マットの印字部分が裏移りすることがあります。

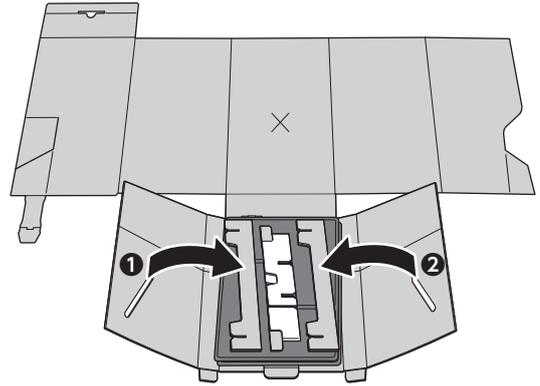
マットの表面が汚れたときは水洗いをし、表面の水分をふき取ります。落ちにくい汚れは中性洗剤を泡立て、擦らずやさしく洗ってください。

# 片づけ

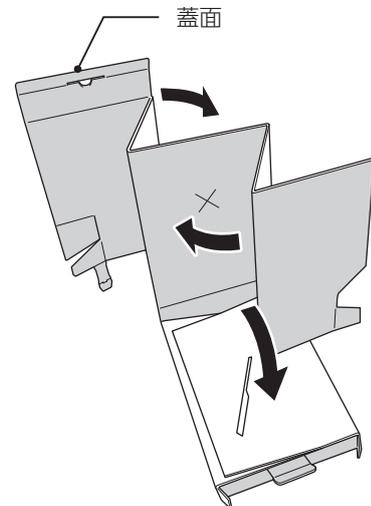
### お願い

- 使用しないときは、箱の形にしたソーラーコレクタにマットを入れて、直射日光、高温多湿、熱源（暖房器具の上など）を避け、乳幼児やペットの手の届かない場所に保管してください。

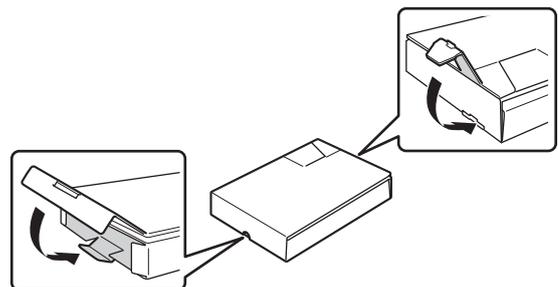
- 1 「SUMMER」の底面を手前にして広げ、マット・台座のパーツを置き、左側が下（①）、右側が上（②）になるよう折り目に沿って折りたたむ。



- 2 蓋面が一番外側になるように、折り目に沿ってジャバラに折りたたむ。



- 3 差込み（2か所）をはめ込む。



# こんなときは

お問い合わせの前に、以下の項目をご確認ください。

ご確認後、改善しない場合はお問い合わせ窓口までご連絡ください（14 ページの「お問い合わせ先」）。

## ソーラーコレクタ（太陽光）を使った蓄熱が完了しないとき

### 蓄熱の状況は？

ソーラーコレクタの台座は使用しましたか？

▶ 台座の上にマットを載せた状態で蓄熱してください。

マットを平置きして蓄熱しているときに、マットの前後の向きを入れ替えましたか？

▶ 蓄熱の途中で、マットの前後の向きを入れ替えてください。前後の向きを入れ替えたくない場合は、マットをS字に折りたたんで蓄熱してください。

マットをS字に折りたたんで蓄熱しているとき、ソーラーコレクタの×印の位置に置きましたか？

▶ ソーラーコレクタの集光性能が最も高い位置が×印の部分になりますので、×印が中心にくるようにマットを置いてください。

蓄熱時に、マットを透明なビニール袋で覆っていましたか？

▶ ビニール袋は、風による蓄熱性能低下を抑制するためのものです。透明のビニール袋で覆ってから蓄熱してください。

ソーラーコレクタの設置場所は、十分に直射日光の当たる場所でしたか？影で遮られていませんか？

▶ 太陽位置は刻々と変わっていくので、直射日光が当たる場所に設置してください。

ソーラーコレクタでの蓄熱を短時間でやめていませんか？

▶ 晴れ間が見えていても、雲の多い日は目安時間（夏季：晴天時で約1時間／冬季：晴天時で約2時間）以上に蓄熱時間を要することがあります。

マットを1度に2枚まとめて蓄熱していませんか？

▶ ソーラーコレクタで蓄熱できるのは、1回あたり1枚です。

蓄熱時に、マットが台座から脱落していませんか？

▶ 透明で下敷きのような固い板状のものを台座の上に置き、その上にマットを平置きして蓄熱してみてください。または、S字に折りたたんで蓄熱すると脱落しにくくなります。ただし、天候により蓄熱時間が長くなることがあります。

蓄熱後に結晶物（細かい塊）がないことを確認しましたか？

▶ 結晶物が少しでも残っていると、ゲル化（固体化）してしまいます。結晶が残りやすい場所は、マットの四隅など厚みが薄い部分になります。マットの四隅など厚みが薄い部分に結晶残りがいないか確認してください。

（次ページに続く）

## 湯せんでの蓄熱が完了しないとき

### 蓄熱の状況は？

マットの一部がお湯の外に出ていませんか？

▶ マット全体が湯につかるぐらいのお湯で湯せんをしてください。

こんろの火加減はとろ火になっていませんか？

▶ とろ火の場合、湯せんでの蓄熱の目安時間以上に時間がかかることがあります。弱火で湯せんをしてください。

小さなお鍋を使っていませんか？

▶ マットは広げた状態で湯せんをしたほうが蓄熱ムラが起きにくくなります。できるだけ大きなお鍋で蓄熱してください。

マットを1度に2枚まとめて蓄熱していませんか？

▶ 2枚まとめて蓄熱する場合は、湯せんでの蓄熱の目安時間（9 ページの「湯せんで熱を溜める」）以上に時間がかかり、破損のおそれがあるため、推奨していません。1枚ずつ蓄熱してください。

### ここを確認してください

## 蓄熱したマットが放熱しないとき（温かにならない）

### マットの状態は？

内容物が液体になっているマット内の金属片を反り返しても、放熱がはじまらない。

▶ 1回の金属片の反り返しだけでは反応しないことがあります。何度か反り返してみてください。

金属片を反り返して、放熱は始まったがなかなか温かにならない。

▶ 金属片を反り返してから、全体が温まるまでの所要時間は約2～3分です。早くマット全体を温かくしたい場合は、マットを手で優しく揉み込むと、潜熱蓄熱材の状態変化が全体に広がります。

使おうと思ったら、内容物が液体だったのがゲル化していた。

▶ 蓄熱が不十分だったか、保管時に何らかの刺激を受けたことにより、放熱してしまっている可能性があります。お手数ですが、もう一度蓄熱をしてください。

### ここを確認してください

## お問い合わせ先

東邦ガス株式会社 技術研究所

住所：〒476-8501 愛知県東海市新宝町507-2

電話：052-689-1611（技術研究所代表）

Eメール：pcm\_support@tohogas.co.jp

# 免責事項

- 放熱持続時間や表面温度は当社実測値であり、使用する環境の影響を受けます。そのため、これらを確実に保証できるものではありません。
- 蓄熱完了までの目安時間は当社実測値です。季節・天候・場所・使用する鍋の材質・保温性能等によって、マットの蓄熱性能やその効率は影響を受けます。そのため、目安時間や用法の通り蓄熱しても蓄熱が完了できることを保証するものではありません。
- 蓄熱が完了していない状態で保管した場合や保管中に何らかの刺激を受けて放熱してしまった場合、金属片を反り返しても放熱が始まらないことがあります。再度蓄熱してご利用ください。
- ソーラーコレクタの糸状の付着物は、加工時の摩擦等により素材が変化したものであり、人毛・獣毛ではありません。
- 愛知県において厳寒期でも太陽熱により蓄熱ができることを確認していますが、晴天が少なく日射が不足がちな地域では、ソーラーコレクタによる蓄熱は適さない場合があります。この場合は、湯せんで蓄熱してください。
- ソーラーコレクタを使用中に、急な天候不良によりソーラーコレクタが汚損または破損しても、ソーラーコレクタ及び台座の保証はできません。

# 製品仕様

## ソーラーコレクタ

材料	反射膜	アルミ蒸着+プラスチックフィルム
	基材	ダンボール
質量・数量	本体	385g・1台
	台座	47g・1式
サイズ	ソーラーコレクタ (箱組立時)	縦幅 305mm × 横幅 215mm × 厚み 50mm
	台座 (組立時)	縦幅 240mm × 横幅 170mm × 厚み 50mm
耐熱温度	反射膜	120℃
用途	トランスウォーミン® L・マット蓄熱用	

## トランスウォーミン® L・マット

材料	袋	塩化ビニール樹脂
	内容物	酢酸ナトリウム、グリセリン、着色料
質量・数量	500g / 枚・2枚	
サイズ	縦幅約 290mm × 横幅約 200mm × 厚み約 10mm	
耐熱温度	袋	110℃
	内容物	100℃
用途	足元温め用	



---

製造・販売元：東邦ガス株式会社 技術研究所（愛知県東海市新宝町 507-2）

お問い合わせ先：（電話）052-689-1611（技術研究所代表）

（Eメール）[pcm\\_support@tohogas.co.jp](mailto:pcm_support@tohogas.co.jp)